

< 12月第二(事務)例会 > 書記 野呂 隆

・日時：2017年12月7日(木)
19:00～21:00

・場所：西神戸YMCA

・出席者：阿部、佐伯、杉本、
館、達、田辺、丹家、長坂、
中村、野呂、藤井(信)、藤井(久)、
メネット：阿部、合田

ビジター：神戸YMCA 総主事 井上真二氏(神戸ポ
ートクラブ)



1. 報告事項

(1) YMCAセミナー

11月18日(土)13:00 神戸YMCA

出席：館、田辺、藤井(久)、杉本メネット

「キリスト教の香りとYMCA」と題して、日本YMCA同盟神崎総主事、ぐんまYMCA村上総主事、神戸YMCA井上総主事の3氏がパネリストとし、YMCAの使命や今後の活動などについて思いや抱負を述べられた。

(2) 第3回EMC事業委員会

11月20日(月) 18:30 神戸YMCA

出席：杉本部長、野呂

EMC事業として、「新クラブ設立」と「会員サービス」の委員会を設けることとし、人選などを行い、活動を進めていく。

(3) 第2回地域奉仕・環境事業委員会

11月20日(月)18:30 神戸YMCA 出席：田辺

障害者絵画展の開催、プルトップ回収活動について協議した。

(4) 岡山クラブ第一例会出席

11月21日(火) 出席：杉本、田辺、中村、藤井(久)

DBC締結に関連して、先方より当方を訪問したい旨の要望があり、日程を調整する。

(5) 六甲部交流ゴルフ大会

11月30日(木) 千刈カントリークラブ

参加：杉本部長

大勢の参加を得て、盛大に行うことができた。

(6) 六甲部役員会 11月22日(水) 西神戸YMCA

出席：杉本、中村、田辺、藤井(久)

次期、次々期のキャビネットについて協議。

2. 神戸YMCA総主事井上真二氏挨拶

今年は4月に神戸YMCA新会館をオープンし、竣工記念式典等の関係行事も無事終えることができた。9月にはチャペルで六甲部会が開催されるなど、ワイズにも利用していただいている。今後もワイズの活動には便宜を図りたい。建築にあたっての募金協力に感

謝致します。私はYMCAに在籍約30年のうち、学園都市のYMCAで14年間を過ごしたので、大変懐かしく思います。今後ともよろしくお願い致します。

3. 協議事項

(1) 岡山クラブとのDBC締結について

クラブとして締結に向けて交渉していくことを全員で確認し、来年2月の第一例会に来訪していただくことで調整する。

(2) 次期六甲部キャビネット(書記、会計、事務局長)募集中

西神戸クラブの大田次期六甲部長より、キャビネットの人選で同クラブの実働会員数が少ないので他クラブに応援の依頼があり、協力可能なクラブが幾つかあるので、調整を進める。

(3) ベルマーク、インクカートリッジ回収箱設置について

ベルマークは回収箱をYMCAの玄関ホールに設置し、外来者にも協力依頼することとした。

(4) クリスマス会

12月9日(土)6:30 西神戸YMCA

クリスマス礼拝を行い、祝賀パーティーではビンゴゲームを計画。

(5) 今後の例会：

1月20日(土) 新年懇親会(場所等は別途)、

2月「神戸みのりの公社」のワインの話、

3月 フルート演奏会

(6) 芦屋クラブ20周年記念例会

12月23日(土) 出席予定：杉本、田辺、中村、

野呂、藤井(久)

(7) クラブが推薦する福祉団体について

六甲部メネット事業から推薦要請があった。

4. その他報告・協議事項 YMCA、各役員、各委員

12月10日(日曜)15:00～ 元町大丸前と学園都市駅前
で国際協力街頭募金を行う

5. 今後の西日本区・六甲部行事予定

◎神戸市民クリスマス12月15日(金) 17:00～
神戸栄光教会

◎第29回阪和部新年合同例会 2018.1.13(土)
12:00～ シティプラザ大阪

<クリスマス例会報告>

会長 田辺征一

この冬は、ホワイトクリスマスと
ならないまでも、12月に入るとずつ
と寒い日が続いている。食糧班は4
時半に集合してコストコへ、年末の土曜日とあってすご
い人出。すし300缶ほか多彩なレシピをそろえる。こう
いう時、メネットの選択眼は大いに頼りになる。

会場は例年通り西神戸YMCA 3階集会室。午後6時
半、第1部のクリスマス礼拝が達ワイズのお祈りで始ま
った。クリスマスメッセージで丹羽和子牧師は、マタイ
による福音書2章1～11節にある占星術師訪問の物語
から、マリアさんがそうであったように、暗闇の中に光
を見出し、神にお任せしていくことの大切さを伝えられ
た。

第2部は待ちに待った会食。おでんと飲み物も加わり、
豪華な宴となった。みんなの胃袋が程よく満たされたこ
ろ、ビンゴゲームが始まった。大きな袋に小さな袋、そ
の中身に一喜一憂、笑いの絶えない中、そろそろ“ビン
ゴー!”の掛け声も終わりと思われたころ、駆け付けた
のは「幼児たんけんクラブ」を率いるリーダーたちであ
った。朝から1日中、4、5歳児を東おたふく山に連れ
て行き、ミーティングが終わったばかり、とのこと。例
会には、このほかにプールリーダー、学童保育リーダー、
YMCA職員、ワイズ関係者、ビジターなど49人が集
まった。

YMCA活動が多くの方々、特にリーダーの若者たち
に支えられていることを実感した例会であった。
来年もよろしくお祈りしま〜す。



会長 田辺征一

第1部の礼拝で記念例会は始まった。「もろびとごぞ
りて」を全員で元気よく歌い、中道基夫神戸YMCA会
長のクリスマスメッセージに耳を傾けた。多忙な日常の
中で大切なものに耳を傾けることの大切さを語られた。

第2部はお待ちかねのクロードチャリのギター&トー
ク。現在は西宮在住とのこと。往年のハンサムボーイも
寄る歳波には勝てず人並みの後期高齢者といったところ。
弦をはじく音も昔のようにはいかないように見受けられ
た。しかし、数々の懐かしい曲が青春時代にタイムスリ
ップさせてくれた。

第3部は会食。出席者は150名。遠くはDBCのもり
おか、鎌倉、熊本みなみのクラブから出席があり盛会で
あった。オークションもあり、売上金は全額神戸YMCA
に寄贈された。

最後に出席者全員が手をつなぎ、「きよしこの夜」を歌
いお開きとなった。



<ANA チャーター便で行くスイス

ゆったりアルプス3大名峰と氷河特急

デラックスシート9>

丹家元陽 メン

7月14日(木)

AM5:30 いつもの習慣で目が
覚める。9°C。ツェルマット出発の
朝。早朝、朝日の当たるマッター
ホルンが一番よく見えるという、通
称「日本人橋」へ。ツェルマットの町の中央を流れるマッ
ター・フィスパ川にかかる橋で、日の出好きの日本人ば
かりが集まる事で有名になり、この名が付いたと言われる。
周辺の山は昨夜の雪で薄っすらと雪化粧していて美し
い。しかし目当てのマッターホルンは所々に雲がかかり、
全貌が見えずで残念。



<芦屋クラブ 20周年記念例会・

クリスマス祝会報告>

下流のテーシュまで列車で数分。そこでバスに乗り継いでモントルーまで約 140km。両側の山には、この傾斜では限界と思われる所までのブドウ畑、平らな所には果樹園。今はアプリコットが旬。牧草と小麦畑が広がる。そして、所々に何か周りの風景と異質なこんもりとした小さな丘が点在している。

ガイドさんによると不測の事態に備えて、食料や武器を備蓄しているとの事。ここスイスは永世中立国と言われているが、日本のように、いざとなればアメリカが守ってくれる(本当かな?)訳ではない。自分で守らないといけない。そこで20才から40才まで、年1ヶ月から4ヶ月の兵役が課せられている。特に食料は1年分が備蓄されていて今日食べるパンは1年前の小麦粉らしい。日本のように「新米がおいしい」と言っているのは愚の骨頂と見られるかも。

左手にレマン湖が見えてきた。ブーメランのような形をしていて面積480km²。琵琶湖より少し小さい位。その湖畔のレストランで昼食。スイス産白ワインを頂きながら、前菜はテリーヌ野菜添え、メインは白身魚のソテー、ライス、キューリ、人参と共に。デザートは名物のチョコレートケーキで大満足。

そして、すぐ前のシヨン城見学に出発。この城はイタリアからアルプスを越えてやってくる東方商人達に通行税や物品税をかける為の関所として9世紀に造られ、バイロンの叙事詩「シヨン城の囚人」でも有名。そして、この船着場からレマン湖周遊の船に乗り、しばしのクルージ

ング。全長数 10m で細長い。約 100 年前に造られ、エンジンを動かす2機の巨大なピストンがものすごいスピードで回転しているのは圧巻。

船はヴヴェイに寄港。ここは、かの有名な喜劇王チャップリンがこよなく愛した町で別荘もある。

そして船は Lausanne 着。ここローザンヌは言わずと知れた IOC (国際オリンピック委員会)本部のある町で坂道が多い。町を北の方に上ったローザンヌ・パレス着。ローザンヌで最高のホテルだけあってゴシック造り、廊下は広くて長い。赤い絨毯が敷き詰めてあり、我々の部屋の近くに COCO CHANEL のネームプレートの付いた部屋もあり、さもありがたんと納得。部屋のベランダからはレマン湖の端から端まで一望でき、湖の中央にある国境線の向こうはフランス領で evian の産地。

夕食までの時間を利用して旧市街の散策へ。とにかく坂道ばかり。約 150 段の屋根付き板張りの階段を登った先にあるのがローザンヌ大聖堂。「スイスに於ける最も美しい教会」と言われるだけあって中のバラ窓のステンドグラスの鮮やかな色が見事。そして、眼下に見えるローザンヌ市街も美しい。

ホテルでの夕食。18℃。生ビールが喉をすべり落ちる。前菜はフレッシュアスパラガスの冷製スープが胃に心地良い。メインはチキンソテーに野菜とたっぷりのマッシュポテトが美味。これには白ワインが必須。デザートはイチゴのタルトで満腹。おやすみなさい。

(次号に続く)

< 今月の聖句 >

金持ちが神の国に入るのは、なんと難しいことか。

金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通る方がまだ易しい。

「イエスは弟子たちを見回して言われた。『財産のあるものが神の国に入るのは、なんと難しいことか。』弟子たちはこの言葉を聞いて驚いた。イエスはさらに言葉を続けられた。『子たちよ、神の国に入ることは、なんと難しいことか。金持ちが神の国に入るのは、なんと難しいことか。金持ちが神の国に入るよりも、ラクダが針の穴を通る方がまだやさしい。』
(マルコによる福音書 10 章 23～25)

その昔、高い塀で囲まれたエルサレムに入るための大門は、夜盗を警戒して日没とともに閉ざされていた。夜間は「針の穴」と呼ばれる大門の脇にある人一人がやっと通れる狭い門が必要に応じて開閉された。ラクダに積んできた穀物袋や薪などの荷物はここで降ろして「針の穴」の中に運び込まなければならなかった。イエスはこれにたとえて言われたのである。

物質的な富へのこだわりを捨て、背負ってきた「罪」を降ろし、膝を屈するように謙虚になりさえすれば、後から来た者でも神の国(神の働くところ)の門を通ることができる。

～ 齋藤 孝 著 「声に出して読みたい新約聖書」草思社より ～